

「大阪名所 じっくりMAP」

水辺のテーマパーク —大正区—



尻無川と木津川、大阪湾に囲まれ、隣の港区や浪速区とは橋でつながっている大正区はまさにアイランド。水運豊かなこの地域は大阪の大工業都市への発展に大きな役割を果たしました。沿岸部には今も製綱所や造船所が建ち並び、大正区に架かる橋はどれも船がその下を通れるように高く設計されています。松田優作の遺作映画となりました「ブラック・レイン」も大正区の中山製綱所がロケ地でした。現在では、港湾部の大型家具ショップが話題になり、たくさんの人々が足を運ぶ新名所になっています。また、自分で住まいの家具を作ったりブリクフォームを行ったりする「DIY」「Do It Yourself」をキーワードに、大正区と企業がタッグを組んだ地域活性化プロジェクトも始まっています。



ピク(沖綱所)



詳しくは裏へ!

大正区 案内人 江口由夏 (えぐち・ゆか)

出版社140B(いちよんまるびー)の記者兼編集者。大正区発行「大正愛らんどMAP」「大正体感地図」など、大正区の水辺や音楽、グルメまで、さまざまな魅力を詰め込んだマップの企画編集を担当。同じく担当した大正区を支える「ものづくり」を紹介した「大正ものづくりMAP」は、この4月に第5弾を発行。マップをきっかけに、遠方の修学旅行生が愛場企業の工場見学にやってくるといったことが実現して嬉しく思っている。